第６講　イスラーム

１　イスラームの成立とムハンマド

①イスラーム成立以前のアラブ社会

A　アラビア半島

南はアラビア海に面し，東西をペルシャ湾と紅海(こうかい)に挟まれる西アジアの半島。人々は砂漠にオアシスが点在する厳しい自然の中で農耕や遊牧をし，隊商〔キャラバン〕を組む商業活動も得意としていた。

B　アラブの繁栄（６世紀後半）

６世紀後半，ササン朝ペルシャ（現在のイラン）と東欧のビザンツ帝国が戦いを繰り返した。従来，アジアとヨーロッパを結ぶ「オアシスの道〔絹の道・シルクロード〕」を運ばれてきた各種商品は，戦乱を避けてアラビア半島西部を経由するようになり，特に大都市**メッカ**の商人は，この国際的な中継貿易を独占し，大きな利益をあげた。

C　社会の乱れ（７世紀前半）

アラブ社会では，個人はあくまでも部族の一員で，**部族ごとに偶像崇拝の多神教(たしんきょう)が存在**した。人々は同族への愛情が強く，他の部族には敵意を向けたので，社会全体としては，まとまりを欠いていた。

※多くの利益を得た豪商の間では，貨幣の力こそ万能という考えも広がり，人々の社会生活・日常生活も乱れがちだった。

②ムハンマドによるイスラームの成立（７世紀）

A　**ムハンマド〔マホメット〕**（570 頃～ 632 年）

メッカのクライシュ族に生まれた大商人。青年期から隊商とともに各地を旅し，ユダヤ教やキリスト教などの教えにも触れていたと考えられる。40歳の頃，郊外ヒラー山の洞窟で「起きて，警告せよ」という神**アッラー**の啓示（けいじ）を，天使ガブリエルから授けられたとされる。

B　**イスラーム〔イスラーム教〕**の成立

ムハンマドは，モーセやイエスが選ばれたのと同じように，唯一絶対神により選ばれた，**最大・最後の預言者**であると自覚し，「**神への絶対服従**」（＝イスラーム）という教えを説き始めた。

C　イスラームへの迫害

イスラームの教えは，部族制に基づく多神教ではなく，ユダヤ教やキリスト教と同じ**一神教**であった。ムハンマドは，偶像崇拝や富の独占を批判したことで，豪商たちから迫害を受けた。

D　**聖遷**（せいせん）**〔ヒジュラ〕**（622 年＝イスラーム暦（れき）元年）

ムハンマドは，彼の教えを信じる人々を率いて**メッカからメディナへ移住**した。そして，**ムスリム**（＝イスラーム教徒）たちの**共同体〔ウンマ〕**が形成された。

※ムスリムは，民族・部族・身分・貧富の違いにかかわらず平等で，聖職者も存在しなかった。

E　メッカの征服

630 年，強力になったムハンマド率いるムスリム軍が**メッカを征服**。**カーバ神殿**の多神教の神像を全て破壊し，聖殿とした。このようなウンマ拡大のための異教徒との戦いを，**聖戦〔ジハード〕**という。その後２年間で，アラビア半島の諸部族は次々にムハンマドの支配下に入り，ゆるやかな統一が実現された。

※イスラームの三大聖地とは，第１のメッカ，第２のメディナ，ムハンマドがアッラーに謁見するため，天使ガブリエルに導かれ昇天したとされる「**岩のドーム**」がある，第３のエルサレムである。

２　イスラームの教えと発展

①イスラームの教え

A　偶像崇拝の厳禁

アッラーは，ユダヤ教・キリスト教のヤハウェと同一の神。人間的な感情をもつ**人格神**で，モーセ・イエス・ムハンマドらを預言者として遣わしたとされる。

※あらゆる事物を超越した，全知全能・唯一絶対の存在なので，どんな形の物によっても表現することはできない。

B　『**クルアーン〔コーラン〕**』→イスラームの聖典

アッラーが，天使の仲介によりムハンマドを通じ人間に与えた言葉（＝聖句（せいく））。ムハンマドの死後にアラビア語でまとめられ，結婚・相続などの私的な規範の他，公的な政治・外交・社会・文化活動にも言及している（＝聖俗（せいぞく）一致）。

※クルアーンとは「読まれるもの」「朗誦（ろうしょう）されるもの」を意味する。文体も詩のようであり，読むだけでなく声に出すべきものとされる。

C　イスラーム法〔シャリーア〕

聖典『クルアーン』と，ムハンマドの言行録（げんこうろく）〔ハディース〕をもとにした慣行（かんこう）・行動規範の**スンナ**からなる。9 世紀に成立。

※信仰や日常生活の規範から行政法や国際法などまで，細かく規定されている。

②六信（ろくしん）・五行（ごぎょう）

６つの信仰と５つの行うべきこと。これらは同じように重視され，信仰心が深くても行為を伴わなければ意味がないとされる。

A　六信

1　アッラー

宇宙の創造者，唯一絶対で全知全能の神。

2　天使

神と預言者を仲介するもの。

3　聖典〔啓典（けいてん）〕

『クルアーン』や，『旧約聖書』『新約聖書』の一部など。

※しかし，ユダヤ教に対しては選民思想を批判，キリスト教に対しては三位一体説を多神教への妥協だとして否定している。

4　預言者〔使徒〕

アダム，ノア，アブラハム，モーセ，イエスなどを含む。最大にして最後の預言者がムハンマド。

5　来世（らいせ）

この世の終わりに下される最後の審判の結果，信仰を守り義務が遂行できたか，現世の報いを受ける場。

※ジハードで死んだ者は，火獄（かごく）〔地獄〕に落ちることはなく，必ず楽園〔天国〕に行けるとされる。

6　天命

この世の全ては，神によって定められたことである。

B　**五行**

1　**信仰告白**〔シャハーダ〕

「アッラーは唯一神，ムハンマドは神の使徒〔預言者〕」と唱える。

2　**礼拝**（れいはい）〔サラート〕

どこにいても１日５回，定められた時刻に定められた手順で，聖地メッカの方角に向かって五体投地を行い祈る。

3　**断食**（だんじき）〔サウム〕

健康な成人男女は，**ラマダーン**月〔断食月，イスラーム暦９月〕の夜明けから日没まで，水を含む一切の飲食を断つ。

4　**喜捨**（きしゃ）〔ザカート〕

資産に応じて貧民のための税金を納める。

5　**巡礼**〔ハッジ〕

生涯に一度は，巡礼月〔イスラーム暦12月〕に聖地メッカのカーバ神殿を訪れる。

③イスラームの発展

A　ムハンマドの死後

ウンマの分裂を回避するため，ムハンマドの継承者である**カリフ**〔ハリーファ〕が選ばれ，最高指導者となった。しかし，どのような人物を選ぶかという論争から，イスラームは多数派の**スンナ派**と少数派の**シーア派**に分裂した。

B　その後のイスラーム

アラビア半島のムスリムたちは，イラン・イラク・シリア・エジプトなどの征服を行い，８世紀半ばまでにイベリア半島からインダス川沿岸までを統治し，古代オリエント世界に代わりイスラーム世界が形成された。

※アラビア語が公用語となり，カリフやのちのスルタン〔支配者〕は，イスラーム法に基づく政治・外交を行った。

〈***Note***〉

第６講　倫理確認テスト

1　イスラームの三大聖地としてふさわしくないものを一つ選べ。
①　メッカ　②　メディナ　③　エルサレム　④　ローマ

2　622 年，ムハンマドが，彼の教えを信じる人を率いてメッカからメディナへ移住したことを何というか？
①　出エジプト　②　異邦人伝道　③　聖遷〔ヒジュラ〕　④　巡礼

3　イスラーム教徒を何というか？
①　ソフィスト　②　バプテスマ　③　ムスリム　④　スンナ

4　イスラーム共同体を何というか？
①　ポリス　②　神の国　③　ウンマ　④　ジハード

5　次のうち，イスラームの「六信」に入らないものを一つ選べ。
①　アッラー　②　天使　③　天命　④　巡礼

6　次のうち，イスラームの聖典と関係のないものを一つ選べ。
①　『クルアーン』　②　『旧約聖書』　③　『新約聖書』　④　『ヴェーダ』

7　次のうち，イスラームの「五行」に入らないものを一つ選べ。
①　信仰告白　②　来世　③　礼拝　④　喜捨

8　断食が行われる月で，イスラーム暦９月を何というか？
①　ラマダーン　②　ハディース　③　シャリーア　④　キャラバン

9　イスラームの少数派を何というか？
①　サドカイ派　②　アタナシウス派　③　スンナ派　④　シーア派

10　ムハンマドの継承者とされるイスラーム最高指導者を何というか？

①　カリフ　　②　使徒　　③　教皇〔法王〕　　④　メシア

解答

1	④	2	③	3	③	4	③	5	④
6	④	7	②	8	①	9	④	10	①